

令和8年度 文化部の指導方針等について

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	石川			
副顧問	中嶋			
副顧問	横森			
副顧問	三浦			
副顧問	阿部			
副顧問	坂本			
副顧問	後藤			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
 - ・余暇活動を通してコミュニケーション能力を高める。
 - ・他者理解ができるようになる。
 - ・集団で同じ活動を行い、協調性をもって行動できるようになる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
 - ・東京都総合文化祭写真部門への参加と入賞
 - ・全国総合文化祭への参加
 - ・
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
 - ・小山内裏公園で写真撮影を行い、四季に応じた植物や動物の情報を提供する。
 - ・内裏谷戸公園での写真撮影やグループ活動を通して地域の防犯活動に寄与する。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
 - ・2名以上で楽しめるカードゲームができる空間の確保を行う。
 - ・人数を限定しないカードゲームを導入しグループでの活動ができるようにする。
- (2) 練習や試合等の計画
 - ・週2日は活動できるように日程の調整を行う。
 - ・東京都内の観光スポットや公園での写真撮影会を行う。
 - ・学園祭前に展示準備のための撮影会を行う。(年3回程度を予定)
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
 - ・活動日には必ずパソコン室に決められた時間に来て自ら活動の準備を行う。
 - ・活動に参加できない場合は部活動顧問に12時までに報告を行い、部活動欠席届を提出する。
- (4) 生徒相互の人間関係
 - ・同じ部活動の一員であり、仲間を大切に思う気持ちを育てる。
 - ・部員それぞれの特色を活かし、会話を楽しめる話題の提供を行う。
- (5) 学習と部活動
 - ・就業技術科の生徒として、現場実習やインターンシップなどの進路指導を優先し、学習と部活動の両立を図るため、保護者との連携をとりながら指導を行う。

- ・ iPad を用いて情報や PC の教科学習の振り返りを行う。また、ネットサーフィンを通じて正しい情報収集能力を高めさせる。
- ・ iMovie を用いて動画編集をする等情報機器の活用能力を高める。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
 - ・ 科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問と外部指導員で共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
 - ・ 運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
 - ・ 顧問と外部指導員のそれぞれの役割について話し合い、共通理解を図った上で指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
 - ・ 生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
前期	4	部活動オリエンテーション
	5	小山内裏公園での iPad を用いた撮影会
	6	伝統的な日本の遊びを取り入れたグループ活動
	7	10月の写真撮影会に向けた準備
	8	
	9	パソコンを用いた写真のデータ整理 小山内裏公園での iPad を用いた撮影会
後期	10	尾根緑道での写真撮影会、都内撮影会（生徒による企画） 校外での写真撮影会
	11	学園祭へ向けた展示準備
	12	学園祭での文化部展示
	1	東京都総合文化祭写真部門参加
	2	imovie を用いた効果的な動画編集講習
	3	卒業生への送別会を開催、お別れ撮影会（生徒による企画）